平成30年5月27日執行

野田市議会議員一般選挙公報

野田市選挙管理委員会

歴史ある野田を「元気」で「暮らしやすい」まちへ！

Let's Begin！

2期8年の経験と実績！

山口かつみの「まちづくり」8つのスローガン

1. 野田市で生まれ育ったことを誇れるまちづくり！
2. 市民と向き合った、わかりやすく優しい市政！
3. 子どもと母親の笑顔あふれる子育てしやすい環境！
4. 知育・徳育・体育を育む教育行政の整備！
5. 高齢者が活き活きと暮らせる環境整備！
6. 自然・文化遺産を保護活用し、おもむきのあるまちづくり！
7. 災害に強い、安全に安心して暮らせるまちづくり！
8. 市民の知恵と意見を必ず届けます！

無所属

山口 かつみ

58歳

【活動】
上花輪花輪会理事
上花輪香取神社奉賛会理事
野田市子ども会育成連絡協議会評議員
野田市上花輪子ども会育成会前会長
野田市防犯組合上花輪支部書記
日本大学習志野高校同窓会副会長
日本大学少林寺拳法部桜門会委員
野球チーム龍馬監督
野神會（野田神輿保存會）発起人

【略歴】
昭和34年 野田市上花輪に生まれる
昭和47年 野田市立中央小学校卒業
昭和50年 野田市立第二中学校卒業
昭和53年 日本大学習志野高校卒業
昭和57年 日本大学経済学部卒業

【議員活動】
平成22年 野田市議会議員初当選
平成26年 野田市議会議員２期目当選
平成28年 野田市議会文教福祉委員長

こまた 小俣ふみのぶ【無所属】

72才

ごあいさつ

皆様の温かいご支援により五期十八年の間、皆様と行政とのパイプ役として働かせて頂いた事に深く感謝申し上げます。

『地域の力』を高めて、子どもたちからお年寄りまで全ての市民が、野田市の街を愛し、住み続けられるよう、皆様との対話を大切にしつつ喜んで働かせて頂きます。

なにとぞ、皆様方の力強いご支援を賜り、再び市議会で働かせて下さいますよう、心からお願い申し上げます。

いつも皆様の目線で こんな街づくりを目指します

日々の暮らしに寄り添う政治を！

家族や地域との関係を大切にする街
自転車や徒歩での移動を楽しめる街
自然環境や景観をいかす街
自立と共助の精神に富む街
地域力による安全と安心の街

- 高齢者の安心見守り対策
- 包括ケアシステムの早期確立
- 新老人福祉センター建設
- 駅前にビジネスホテルを誘致
- 新清掃工場の早期建設

プロフィール
新潟県上越市生まれ・成蹊大学文学部卒業
野田市監査委員 上町区理事長
上町地区社会福祉協議会副会長
野田市商業協同組合専務理事
柏青色申告会野田支部理事
野田市交通安全協会中央支部理事
野田市釣会連合会会長

福祉のふくなり

◆実現力ナンバーワン！◆

公明党 公認

西村（にしむら） ふくなり

実現しました！

◎福祉用具購入時の立替払いを不要に
◎介護支援ボランティア制度の導入
◎救急医療情報キットを配布
◎子ども医療費の助成を小学３年から中学３年まで拡充
◎公立の全小中学校、幼稚園にエアコンの設置を実現

挑戦します！

◎全小中学校に洋式トイレの導入を推進
◎公共施設の更なるバリアフリー化推進と認知症カフェ等の増設
◎体験型防災訓練の充実と避難所の拡充
◎行政窓口のワンストップ化（一本化）

一 略 歴 一
1954年生まれ
現住所／野田市山崎貝塚町在住
家　族／妻と2人家族　　出身校／駒沢大学卒
議会歴／現職3期、副議長、文教福祉委員長等歴任
現在、環境経済委員
資　格／高校中学校社会科教員免許

西村ふくなり 検索

もっと明るく 元気な街へ

- 野田に音楽や芸術文化を広め活気のある街へ
- 保育所待機児童と学童保育の過密化対策への取り組み
- 子どもが安心して外で遊べる環境作りに万全を尽くします
- 高齢者が生きがいを持ち、安心して生活できる環境への支援
- 銀行一筋46年の経験と長年のマジック暦を生かし家族、学校、そして地域と一体となり、市民の声を素早く行政に伝え、住み易い明るく元気な街づくりを約束します

なんば　きみお　プロフィール

１９５３年（昭和28年）　６月１９日
山形県鶴岡市で生まれる（現在64才）
鶴岡市立西目小学校卒業
鶴岡市立上郷中学校卒業
酒田南高等学校卒業
昭和47年４月　東京都民銀行　銀行一筋（都内支店）46年間勤務
昭和60年　千葉県野田市に移住

■ あおいそら運動南部支部（現・事務局員）
■ みずき４丁目第５自治会・元会長（通算７年 ）
■ 野田マジッククラブ・前会長（通算４年・マジック暦33年）

無所属

なんば きみお

６４歳

NHK から国民を守る党

NHKから国民を守る党は、NHKに受信料を支払わない庶民を応援・お守りする政党です。

http://nhkkara.jp/

法律を改正するしか、安心安全にNHK受信料の不払いが出来る方法はありません。

NHKの問題

2017年12月6日、最高裁判所は受信料の支払いを合意と判決しました。しかしそんな判決、ほとんど気にする必要はありません。法律や判決より大切なこと、それは正義です。不祥事を繰り返し、脅迫をいじめるNHKという悪者に、受信料（お金）を支払わないあなたの行為は間違いなく正義です。

- ☑ 不祥事が多い
- ☑ 職員の給料が高い
- ☑ 受信料制度が不公平
- ☑ スクランブル放送をしない

NHKと政治の問題

政党はNHKと喧嘩しない。政治家はNHKに国会中継で取り上げられたい。スキャンダルを放送されたくない。集金人の労働組合は共産党に守られ、職員の労働組合は民進党に守られ、経営陣は自民党によって選ばれている。

ネットに公費

テレビが国民の生命と財産を守る時代は終わりました。スマートフォンが国民の生命と財産を守る時代になりました。スマフォの購入費やパケット通信料を税金で負担するのが、NHKから国民を守る党の長期的な政策です。

2016年に東京都知事選挙に立候補して、「NHKをぶっ壊す！」と笑顔で9回、NHKのスタジオ内で連呼し、その模様がNHK政見放送でオンエアされるや、たちまちインターネットで話題となった、東京都葛飾区議会議員の立花孝志が党代表です。党代表立花孝志は元NHK職員で、NHK職員時代の2005年、週刊文春でNHKの不正経理を内部告発した事が原因でNHKをクビになり、その後度重なるNHKからの嫌がらせに負けず、2013年にNHKから国民を守る党を立党しました。

NHKから国民を守る党

さじき 友樹

38歳

2期目の挑戦

思いやり市政にチャレンジ!!

安心と安全、そして誰もが暮らしやすい野田市へ。

国民民主党

おぐら なおき

53歳

危機管理・リスクへの対応
東日本大震災を経て、益々その思いが強くなり、当地へのボランティア活動などの経験により、野田市での危機管理とは何かと思案し続けています。

カラーユニバーサルデザインの強化
色が苦手な方、高齢者など、より多くの人に利用しやすい製品や施設・建築物、環境、サービス、情報を提供する「カラーユニバーサルデザイン」を推進します。

高齢者が笑顔で暮らせる野田市へ
地域活動への参加により、沢山の方と意見を交わしてきました。高齢者と若者の垣根を取り払って、みなさんが共に集い、笑顔で暮らせる野田市にします。

次世代が「住みたい」と思う街づくり
「あぁ野田市っていいな」と思う住みやすい街づくりのために、●子育て支援・保育所問題解消●野田市への移住者支援●野田市商店街の活発化、各町の街づくり支援等々、みなさんが望む野田市の街づくりを進めます。

国際性豊かなまちづくり
社会・経済・文化の急速なグローバル化にともない、市内の外国人は増加しています。滞在する外国人が、快適に活動できる環境づくりを目指します。

２０２５年問題
団塊世代が２０２５年までに後期高齢者（７５歳以上）に達する事により、介護・医療費などの社会保障の急増が懸念されています。こういった大きな問題にも、国や県、市の各所と連携して問題解決に取り組んでいきます。

おぐらなおきプロフィール
東部中学校卒～東海大付属浦安高等学校卒～東海大学文学部卒
千葉トヨタ自動車(株)～日新火災海上保険(株)～(株)あおば総合保険設立
連合千葉推薦　2014年野田市議選当選　文教福祉委員会副委員長
尾崎台在住　事務所:岩名1丁目

おぐらなおき 検索

「我がふるさと野田」の発展に全力投球

実現へ向けて全力投球

愛する野田を 安心・安全都市に

公明党 公認

内田（うち だ）よういち

54歳

■実績
☆防災無線の市内全域設置
○３・11東日本大震災以前から、様々な機会を通し、設置を要望し実現
☆「まめメールの開設」ならび内容の充実
○携帯電話などを活用し「防災情報」「水災情報」「行方不明者情報」「防災無線の内容」など、様々な情報発信を訴え実現
☆ごみ袋、サイズの自由選択制度導入

■政策ビジョン
☆「安全・安心」のまちづくり推進
○防災・減災対策の推進と危機管理強化
○防犯・交通安全対策の強化と住環境の整備
☆「輝く未来」へ子育支援・教育の充実
○安心して子供を産み育てることができる支援
○未来を担う人材の育成に向けた教育環境の整備
☆ぬくもりのある福祉の充実

一 略 歴 一
昭和38年8月生まれ　現住所／野田市木間ケ瀬5501-17
家　族／妻、5人の子ども、2人の孫
最終学歴／創価大学通信教育部法律学部中退
議会職／副議長、文教福祉委員会委員長など歴任
現在は議会運営委員会副委員長
党役職／野田総支部議会部長、監査委員
資格など／第一種電気工事士、無線通信士・無線技士
趣　味／音楽鑑賞、天体観測、アマチュア無線

わかりやすい市政 元気な野田市を

社会民主党

小倉 良夫

小倉良夫 5つの政策

❶ 少子高齢化にそなえ、安心して子供を産み育てるための諸施策の展開をはかります
❷ 子どもの個性・能力をのばし、学校教育と地域が連携し、生涯学習・スポーツ・文化の振興をはかります
❸ 地域環境に配慮し、都市と自然が共存する豊かなまちづくりを目指します
❹ 野田市の商工業・農業に元気をとりもどし、雇用を促進し、活力あるまちづくりを目指します
❺ 保健・医療・介護福祉対策を充実するとともに安心・安全で良好な生活環境の整備を目指します

プロフィール

1951年6月	野田市三ツ堀に生まれる	【現　在】
1967年3月	野田市立福田中学校卒業	*野田市議会議員4期
1970年3月	埼玉県立春日部工業高校卒業	総務委員会委員
1970年4月	チッソ電子化学株式会社入社	*党役職
	（現　株式会社 SUMCO）	県連合常任幹事
1982年～2002年	労働組合中央本部書記長	野田支部幹事長
	連合千葉執行委員・産別組合役員歴任	
2002年5月	野田市議会議員に当選	

地域の発展！みんなの安心安全！

おうら等（ひとし）

61歳

1。未来への投資

■ 若者などが自らの能力を活かして実際に起業したい人を支援する仕組みをつくり起業家を育成します。
■ 若者の課題に対しては、当事者である若者の意見を市政に反映できる仕組みをつくり若者にも魅力のある街づくりをします。
■ 若年層のキャリア教育の促進を図るとともに、市役所や公共施設、企業、農家で就業体験が受けられるインターンシップ制度を促進します。

2。地域への投資

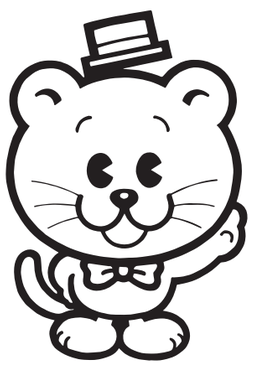
■ 農作物や市内で生産される商品のブランド化を推進するためにブランド協議会を創設し販売促進へとつなげます。
■ 国道16号線沿いに「道の駅」をつくり、文化、歴史、名所などの情報発信や農産物等の販売を行います。
■ エネルギーの地産地消を推進すると共に、再生エネルギーの事業化を支援します。

3。安心への投資

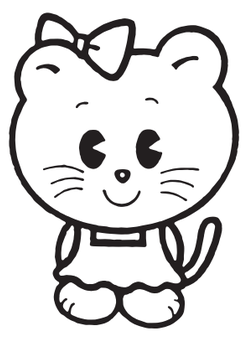
■ 市民が気づいた行政の問題について、スマートフォンから指摘、改善提案ができるシステムを構築し、行政ニーズの把握と即応体制の整備を整えます。
■ 小中学校の空き教室などを積極的に活用し、地域の人材やNPOなどが協力して活動する福祉拠点を小学校区単位で設けます。
■ 公共サービス・交通網を充実させ、買い物や通院等、市民の日常生活に支障が起きないよう努めます。

おうら等のプロフィール
● 昭和32年4月生まれ　満61歳
● 学　歴
関宿小学校・関宿中学校卒業
埼玉県立越谷北高等学校卒業
大原簿記専門学校卒業
● 職　歴
江川会計事務所勤務
税理士法人永光パートナーズ勤務
（税務・会計のスペシャリスト）
● 現　在
野田市議会議員（現職１期目）
（一社）柏青色申告会理事
野田市遺族会副会長
● 活動歴
関宿小学校PTA本部役員
JAちば東葛総代
関宿ふれあい運動会実行委員等を歴任
● 家族構成　妻・三女
● 座右の銘
虎穴に入らずんば虎児を得ず

投票日　5月27日（日）



午前７時から 午後８時まで



備考：この選挙公報は、候補者から提出された原稿をそのまま写真製版により縮小して印刷したものです。